

**製品名: TRAP230 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab19225**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	

## 抗原情報

遺伝子名	MED12
別名	MED12; ARC240; CAGH45; HOPA; KIAA0192; TNRC11; TRAP230; Mediator of RNA polymerase II transcription subunit 12; Activator-recruited cofactor 240 kDa component; ARC240; CAG repeat protein 45; Mediator complex subunit 12; OPA-containing prote
遺伝子 ID	9968.0
SwissProt ID	Q93074
免疫原	抗血清はヒト MED12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 611-660

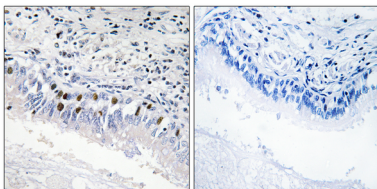
## 背景

転写の開始は、前開始複合体と呼ばれる大きなタンパク質集合体によって部分的に制御されます。この前開始複合体の構成要素の一つは、メディエーターと呼ばれる 1.2 MDa のタンパク質凝集体です。このメディエーター構成要素は、この遺伝子によってコードされるタンパク質、メディエーター複合体サブユニット 12 (MED12)、MED13、CDK8 キナーゼ、サイクリン C を含む CDK8 サブ複合体と結合します。CDK8 サブ複合体はメディエーターとポリメラーゼ II の相互作用を調節し、それによって転写の開始と再開の速度を制御します。MED12 タンパク質は CDK8 キナーゼの活性化に不可欠です。この遺伝子の欠陥は、X連鎖性オピッツ・カヴェジア症候群 (FG 症候群とも呼ばれる) およびルジャン・フリンス症候群を引き起こします。[RefSeq 提供、2009 年 8 月]疾患: MED12 遺伝子の欠陥は、ルジャン・フリンス症候群[MIM:309520]の原因です。これは、マルファン症候群様体型を伴う X連鎖性知的障害としても知られています。臨床的には、ルジャン・フリンス症候群は、高身長、開鼻声、指の過伸展、高い鼻根によってオピッツ・カヴェジア症候群と鑑別できます。疾患: MED12 遺伝子の欠陥は、オピッツ・カヴェジア症候群 (OKS) [MIM:305450]の原因です。これは、FG 症候群 1 型 (FGS1) または FG 症候群 (FGS) としても知られています。OKS は、精神遅滞、相対的大頭症、筋緊張低下、便秘を特徴とする X連鎖性疾患です。機能: ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の転写制御に関与するコアアクチベーターであるメディエーター複合体の構成要素です。メディエーターは、遺伝子特異的な制御タンパク質から RNA ポリメラーゼ II の基底転写機構へ情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、制御タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般的な転写因子と機能的な転写開始前複合体を形成するための足場として機能します。このサブユニットは、Wnt シグナル伝達経路および SHH シグナル伝達経路の標的の転写を特異的に制御する可能性がある。類似性: メディエーター複合体サブユニット 12 ファミリーに属する。サブユニット: メディエーター複合体の構成要素であり、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11 から構成される。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成する。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低い。1 つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれている。また、CTNNB1 および GLI3 とも相互作用する。組織特異性: 普遍的。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ポリメラーゼ関連因子; ポリメラーゼ II 転写; RNA ポリメラーゼ; メディエーター複合体

## 画像データ



MED12 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。